

鳥インフルエンザ情報（家保たより第21号）

令和3年11月2日

鶏を飼養されている皆様へ

国際連合食糧農業機関（FAO）から各国あてHPAIの侵入リスクに関して警戒を呼びかける情報がありました。

FAOは、ここ数週間の世界各地での発生状況から、世界の各地域でHPAIウイルスの活動が活発化すると予想しており、9月中旬にロシア南東部の野鳥からH5N1が検出されたのを皮切りにウイルスが西に動いていることが報告されています。

9月28日にWEBで開催された「越境性動物疾病防疫対策強化推進会議」の中で、昨年度のHPAIの多発について、夏にシベリアにいた野鳥（ウイルス保有）が西（ヨーロッパ）と東（日本含むアジア）に移動したと推定されています。

今回のFAOからの警告では東へのウイルスの移動については言及されておきませんが、北海道でLPAIの野鳥が確認されていることからシベリアからウイルスを保有した多数の野鳥が日本に飛来してくる可能性は十分にあると考えられますので、皆様におかれましてはフェンスやネットの破損の有無の確認や踏み込み消毒槽や石灰帯による鶏舎内へのウイルス侵入の防止に引き続き努めていただけますようよろしくお願い致します。

健康観察を十分におこなっていただき、異状を発見した場合は下記の連絡先まで早期通報をお願いいたします。

山梨県東部家畜保健衛生所

TEL：055-262-3166/FAX：055262-3108

夜間・土日・休日：090-5535-8005

土日・休日：090-5544-7868